

受電設備製作設置における創意工夫について

(株) 柿本商会 神通川水系砂防事務所
受変電設備製作設置工事
(工期:平成21年3月4日～平成21年10月31日)
現場代理人 土田 稔
監理技術者 若島 将洋



1)はじめに

本工事は、神通川水系砂防事務所庁舎新築に伴い、受変電設備の機器製作・設置及び調整をするものであります。

本工事は、庁舎のエネルギー源の中心である受電設備の製作・設置ですので保守点検が竣工後、重要となります。保守点検が容易になる手助けとしての創意工夫について3点報告いたします。

2)創意工夫の内容

(1) 受変電設備の単線結線図の表示

配電盤に受変電設備の単線結線図を表示することにより、保守点検者が本設備の内容(遮断器容量、変圧器容量、コンデンサー容量、低圧側回路開閉器等)が一目で把握することが可能となり、保守管理がスムーズに行えるようにしました。

状況写真



(2) 接地線の種別の表示

電気室、発電機室ピット内には3種類(A種、B種、C種)の接地線が敷設してあります。接地線はすべて緑色なので、将来工事で適切な接地線に接続する場合、調査後の接続となり、誤接続による災害や事故及び時間の浪費等になります。

そこで接地線に表示を等間隔に取付、接地線種別を容易にわかるようにしました。

状況写真



(3) ケーブル表示札の用途別による色分け

いままではケーブル表示札にはケーブル種別、サイズ、行先等が記載されたものを取付けてありましたが、今回は用途別（動力系は青色、直流系は水色）に色分けし、今後のメンテナンス等でケーブルの用途をより分かり易く識別できるようにしました。

状況写真



3)おわりに

本工事は、機器製作期間がほとんどで現場作業が4日間ほどでした。そのため今回は運用後のメンテナンスに対してにしばって創意工夫を考えましたが、上記の3点以外にまだ沢山の工夫があると思われます。今後は施工、新技術、品質、安全、地域貢献でも創意工夫を発表できるようがんばっていきたいと思います。